

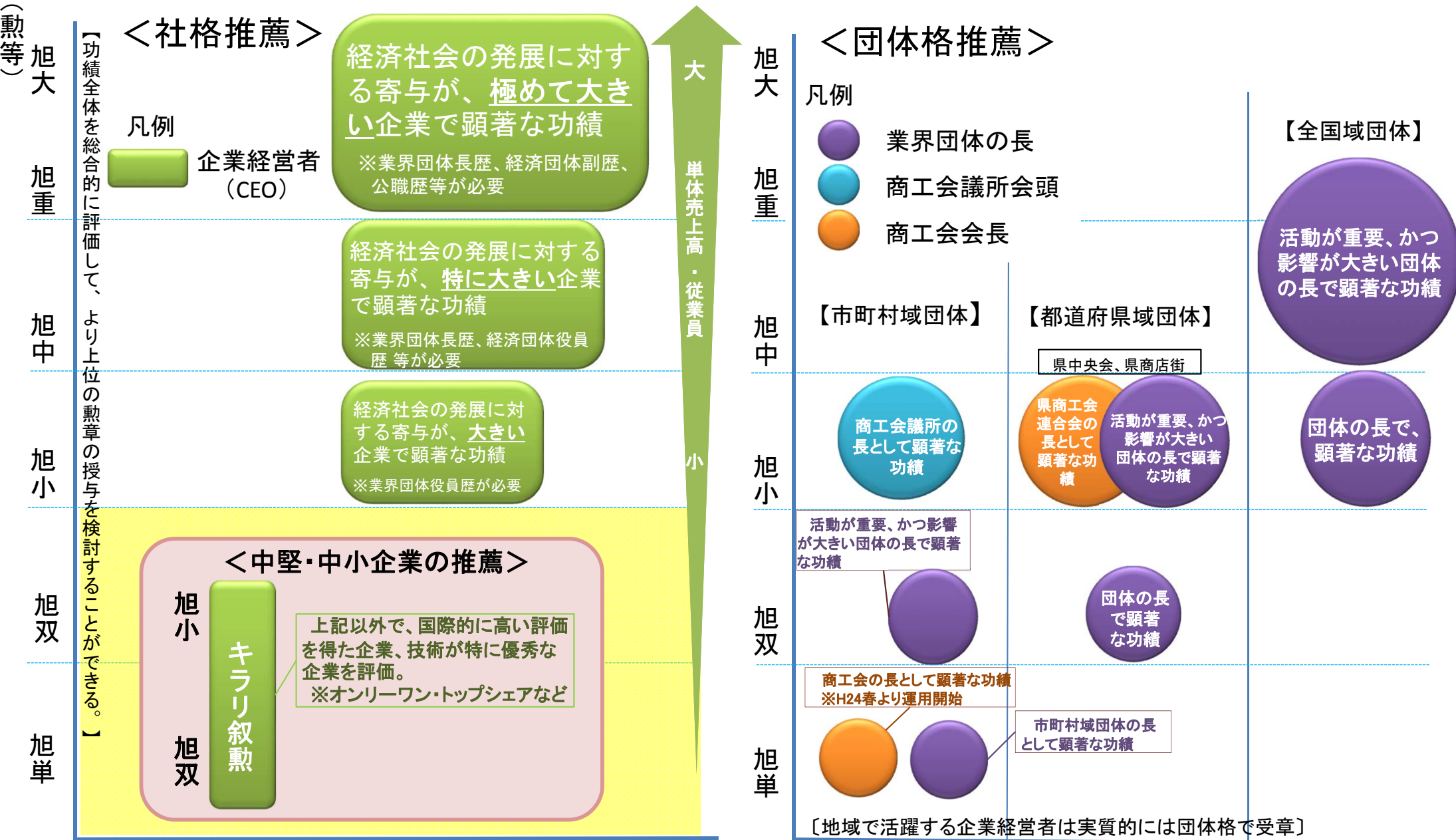
企業経営者等への栄典授与について

平成28年3月16日

経済産業省

1. 企業・団体の最高責任者の勲章授与にかかる基準

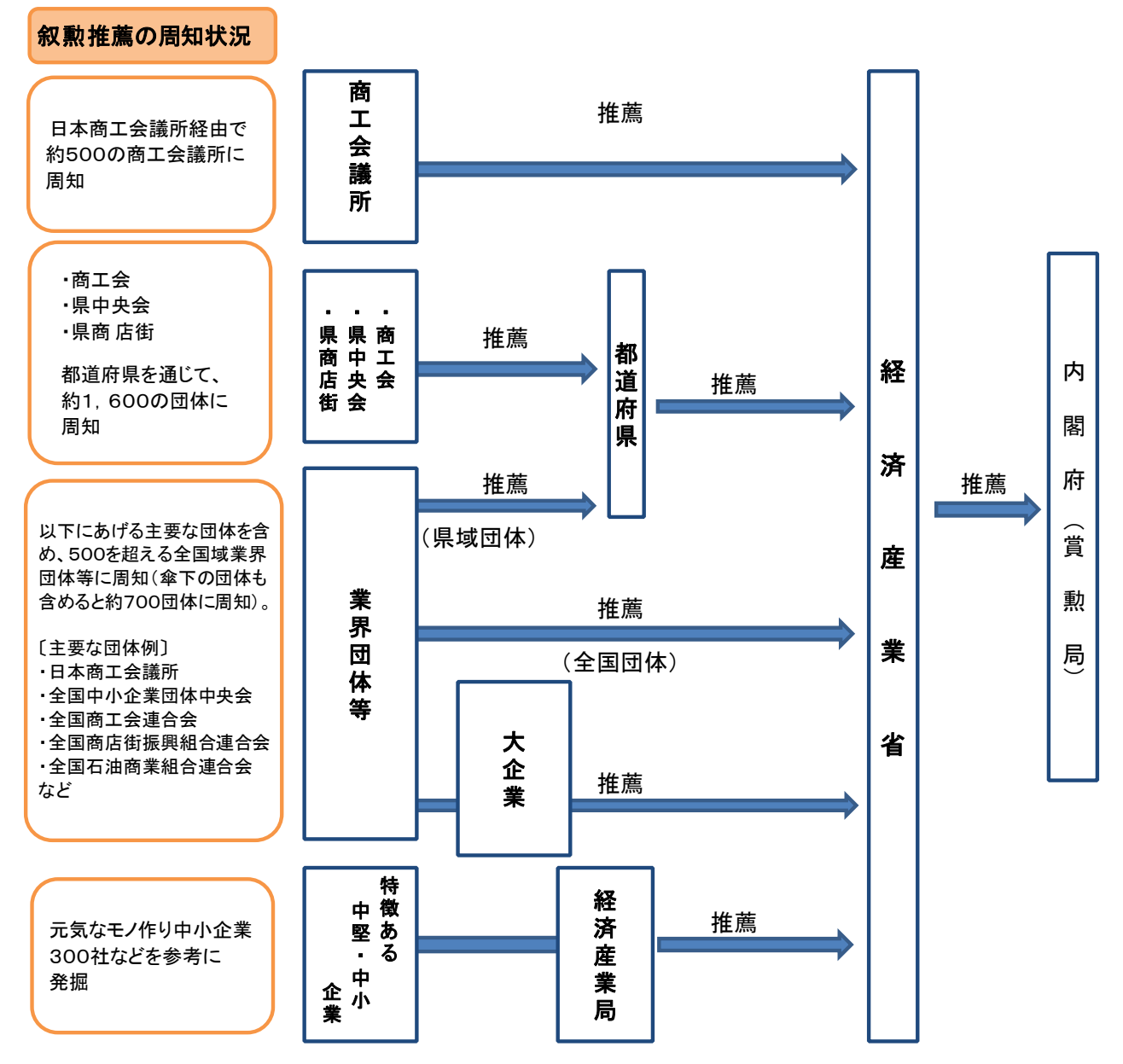
～勲章の授与基準（平成15年5月20日閣議決定）による企業経営者・団体役員の評価～



※小売、卸売業等の企業経営者は、製造業と比べて大きな売上規模が必要。

2. 叙勲推薦の周知状況等

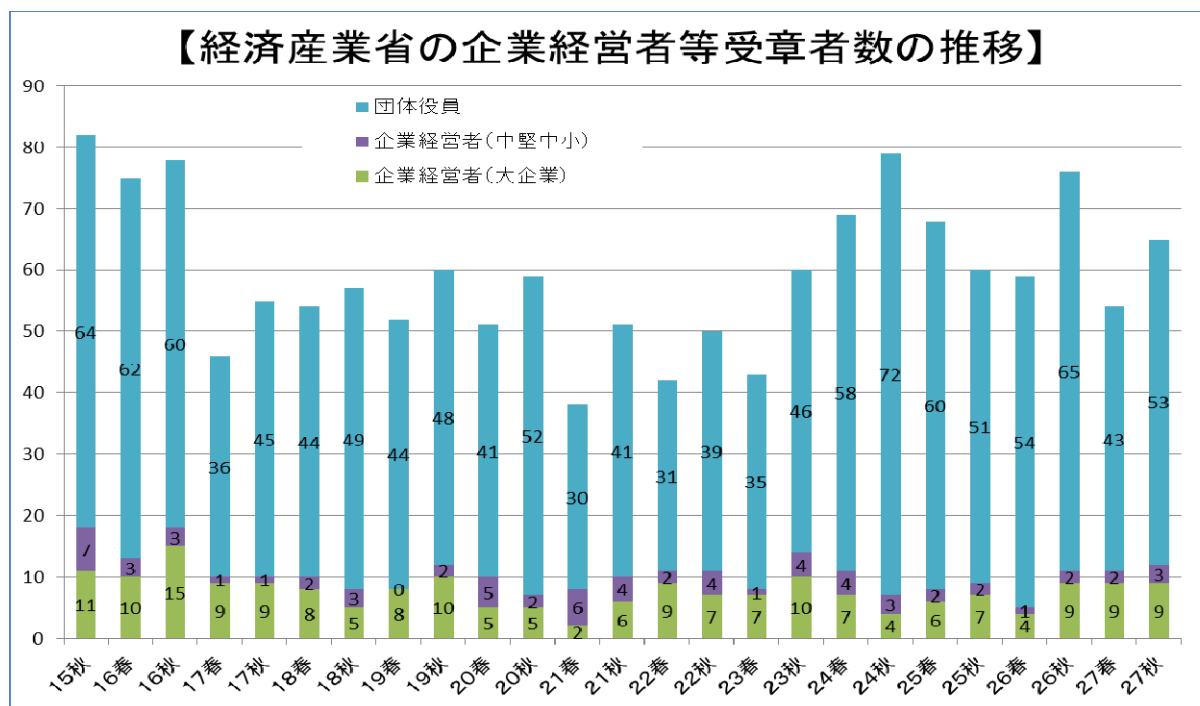
○全国域業界団体に加え、日本商工会議所、県域商工会・中央会・商店街振興組合等を通じて、広く産業界に周知。
 全体では、2, 800以上の団体に候補者の選出を依頼。



※上記のほか、一般推薦によるものがある。

3. 企業経営者等の叙勲状況

- 企業経営者等への叙勲授与者数は、長引く景気の低迷等から大きく落ち込んだ時期があったが、平成23年、24年に増加し、その後は横ばいの傾向にある。
- これまで企業経営者は、売上高、業界団体、経済団体、公職歴を中心に評価してきたため、例えば先進的な技術開発によって経済社会への貢献、国民生活の利便性向上に貢献しても、社業功績(売上伸張)の一部としての評価にとどまってきた。
- 今後は、売上高が低い場合、団体役員歴等がない場合であっても、業績伸張、経営効率化、技術開発、雇用拡大、設備投資などを総合的に評価してはどうか。



＜大企業経営者の受章が増えない要因＞

- 景気低迷が長引く中、社長在任時における売上高の減少、一時的な赤字決算等に対する厳しい評価。
- 事故、不祥事など、栄典環境上ふさわしくない事案の増加。
- 企業経営者であっても団体役員歴等が必要なため、会長、副会長等の主要企業経営者しか推薦されない傾向。

4. 新たな産業分野、技術開発(知財)事例について

○新たな産業分野等への栄典については、業界団体等からの照会をもとに積極的に推薦してきており、近年においてはソフトウェアや電子コンテンツ分野を中心に実績が出ている。また、技術開発(知財)などを社業功績の一つとして評価した事例もある。

1. 新たな産業分野等への叙勲・褒章の実績

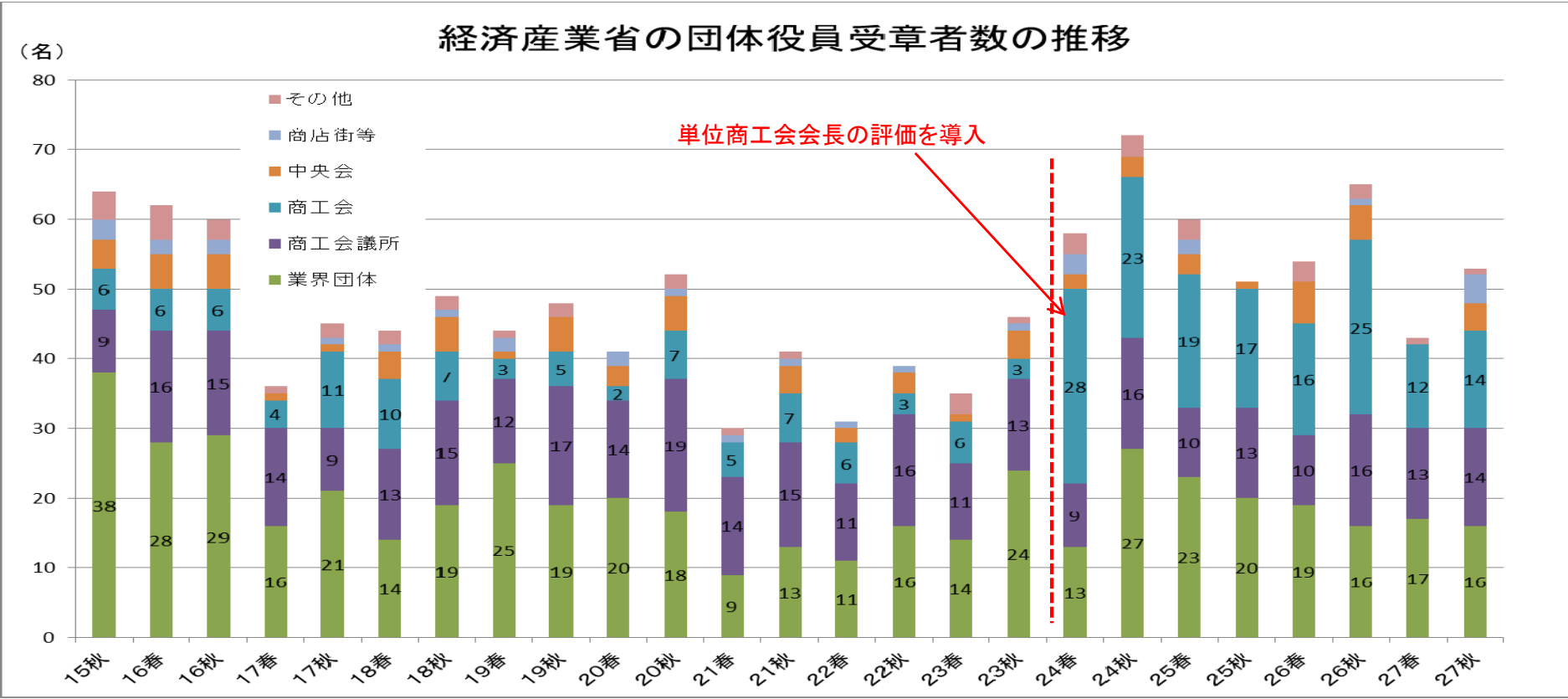
	受章者	分野
叙勲 (旭日章)	H23秋 現 コナミ(株)代表取締役会長兼社長	ゲームソフト
	H25春 元(株)第一興商代表取締役社長	カラオケ
	H26春 元 TIS(株)代表取締役社長	ITソリューション
	H27春 元(株)マツモトキヨシ代表取締役社長	チェーンドラッグストア
褒章 (藍綬)	H21秋 元(株)スクエア・ユニックス 代表取締役会長	ゲームソフト
	H25秋 現 クリプトン・フューチャー・メディア(株)代表取締役	歌唱音声合成ソフト
	H26春 現(一社)コンピュータソフトウェア協会会長	パッケージソフトウェア
	H26秋 元(社)日本システムハウス協会会長	組込ソフトウェア

2. 技術開発(知財)などを社業功績の一つとして評価した事例

	受章者	先進的な技術開発による功績
叙勲 (旭日章)	H26秋 元 輸送用機器メーカー 社長	超低PM(Particulate matter)排出ディーゼル認定車両、ハイブリッドトラックを世に送り出すなど環境負荷低減に貢献等
	H27秋 元 金属製品メーカー 社長	HDD用磁気ヘッドの位置決めを高精度で行う事が出来る「DSAサスペンション」を世界で初めて製品化しHDDの大容量化に貢献等
	H27秋 元 輸送用機器メーカー 社長	ディーゼルエンジン式ハイブリッドフォークリフトを開発し、物流シーンにおける新たなニーズに対応等
	H27秋 元 化学メーカー 社長	高性能なロケット用個体推進薬を開発し、衛星打ち上げ能力の拡大に貢献等

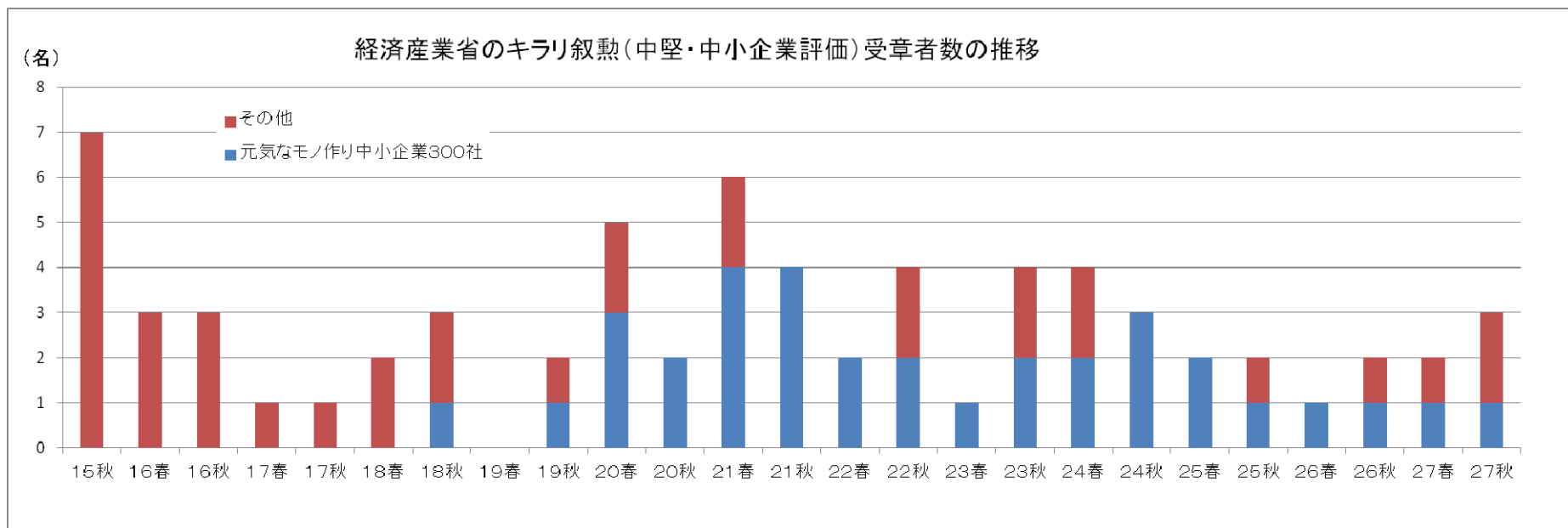
5. 団体役員の名刺状況

- 平成24年春に単体商工会会長の評価を導入したことにより一時増加したが、その後はバラツキはあるがほぼ横ばいで推移。
- 商工会議所や商工会では、役員の名刺制や重任回数に制限を設ける傾向にあるため、団体役員歴が短くなる傾向がある。また、女性役員の名刺も短くなっているため、今後は役員歴、長歴等について、こうした実態に即した見直しを検討してはどうか。
- 商工会議所、商工会は、地方創生を担う重要な組織であり、その役割は従来に比べて格段に増加していることから、重責に見合った評価を検討してはどうか、また、長・副に限定することなく、委員会活動等により地域貢献活動や、まちづくりに献身的に取り組んでいる会員の評価を検討してはどうか。



6. 中堅・中小企業の叙勲状況

- ニッチ市場であり統計データが無いことにより資料の作成が困難、経営基盤が脆弱であり厳しい経営状況の中で赤字計上年度が存在するなどから、評価の対象にできる企業経営者は極めて限定され、受章者数は総じて低調に推移している。
- 今後は、元気なモノ作り中小企業300社などに選出された企業のうち、表彰後も安定的な経営を続けている企業の経営者を積極的に評価することとしてはどうか。
- シェアの客観的説明のために求められる統計データに代わるものとして、複数の者(ユーザー等)からの評価や、経済誌、業界紙による特集記事等をもっての評価を検討してはどうか。



【評価の対象】

☆独自技術などによるオンリーワン企業・トップシェア企業として、国内外で高い評価を受けるなど、特筆すべき特徴を有している中堅・中小企業において、経営の最高責任者として顕著な功績を挙げた者。

- ・シェアにおいて特に高い優位性があること。
- ・当該製品又は技術に高い優位性があること。

※シェアや独自技術などについては、具体的説明が可能であって、第三者等から客観的な評価を得ているもの。

- ・当該企業の経常収支が、一定の間、赤字でないこと。

【推薦に係る困難性】

- ・シェアや独自技術の具体的・客観的説明の困難感(公式・業界統計が無い)
- ・経営基盤が脆弱であり、厳しい経済状況の中で赤字計上年度が存在。
※国税庁会社標本調査によれば、資本金1億円以下企業の約7割が欠損法人
- ・企業情報(財務諸表、ブラック・ボックス化情報)等の開示に係る抵抗感
- ・叙勲推薦に係る関係書類(功績調書等の各種調書)作成のための事務負担